KANAGAWA 看護だより

Vol.172
2017年1月

公益社団法人
神奈川県看護協会
〒231-0037 横浜市中区富士見町3番1
神奈川県総合医療会館内
TEL.045-263-2901㈹ FAX.045-263-2905
http://www.kana-kango.or.jp/

平成28年度 会員数 35,852人
（平成28年11月24日現在）

▲嘱託医とのカンファレンス風景
利用者さんの健康状態について
多職種で話し合います

元気いっぱい!太陽の家スタッフ一同

笑顔で利用者を元気にします!

医務室　喫茶へようこそいらっしゃいました

▼秋祭り
看護師もイベントでは張り切っています

▼浦賀の小高い山の上に建つ太陽の家全景
窓から浦賀水道を見渡せます

▲外防犯対策研修で
刺股を体験しました

ユーちゃん

アイちゃん

CONTENTS

◆会長挨拶「新春に寄せて…」……2
◆スペシャリストが行く「小児アレルギーエデュケーター」「小児看護専門看護師」……3
◆健康ひろば「利用者さんのための季節料理」……4～5
◆目からウロコのお役立ち情報「女性と腰痛」……6
◆県民のための講演会「きくち体操」／私のヒーリングタイム……7
◆支部コーナー……8～9
◆役員の推薦及び立候補について／理事会報告……10
◆お年玉プレゼント／昨年度当選者の喜びの声……11
◆こんにちは事務局です／表紙の写真／編集後記……12

【今月の表紙】
社会福祉法人ユーアイ二十一
特別養護老人ホーム　太陽の家
➡施設の紹介は12ページに掲載しています

新春に寄せて…

“病院から在宅へ”切れ目のない看護の提供をめざして

公益社団法人神奈川県看護協会会長　篠原　弘子

新年あけましておめでとうございます。

平成29年の新春を、健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、神奈川県看護協会の事業運営に、ご支援、ご協力をいただきありがとうございました。

在宅医療充実のための連携体制づくりと人材確保

昨年は、平成26年制定の「医療介護総合確保推進法」を受けて改正された医療法に基づき、各都道府県において「地域医療構想」の策定が進められ、県内各地域で開催された地域医療構想調整会議等には、医療関係団体として看護協会も参画してきました。

10月末に発表された「神奈川県地域医療構想」では、高齢化のスピードが全国平均を上回ると予測されている神奈川県で、今後さらに増大が見込まれる医療・介護ニーズへ対応するために、効率的で質の高い医療・介護の提供体制構築を目指した、長期的な視点での方向性が示されています。

その中で、今後の主な課題としてあげられていることは、本県で不足すると推計されている回復期を中心とした病床の確保と関係機関の連携体制づくり、また、地域包括ケアシステム構築に向けた在宅医療の充実、そして、それらを支える看護職をはじめとする医療従事者の確保です。

2025年（平成37年）を見据え、看護のあり方も、“病院から地域・在宅へ”の流れとともに、高度急性期の医療現場から人々が病気や障害とともに生活をする場まで、切れ目のない看護の提供体制が求められます。そして、どの場においても、看護の専門性に基づいた幅広い視野と確かな実践力が一層期待され、私達の取り組むべき課題も山積しています。

あらゆる領域での看護職の活躍を幅広く支援

さて、昨年は、10月から日本看護協会による新たな会員情報管理システム「ナースシップ」が運用開始となりました。看護協会入会の入り口は各都道府県看護協会ですので、新たなシステムへの移行に伴う業務や会員一人ひとりの継続入会手続きへの対応など、日本看護協会と連動する形で現在も進めております。施設代表者の方々はじめ会員の皆さまには、ご協力いただきましてありがとうございました。引き続きよろしくお願いいたします。

看護協会が、多くの会員の皆さまに支えられている力強さを改めて実感するとともに、あらゆる領域で、看護職として日々活躍奮闘されている皆さまに対し、これからも様々な事業を通して幅広い支援ができ、信頼される職能団体であり続けるために、本年も一層努力して参りたいと思います。そして、共に歩む伴走者として、しっかりと歩みを進めていきたいと思います。

昨年は、熊本での地震をはじめ台風や豪雨、洪水など、全国各地で大きな自然災害が発生し、心痛む多くの被害がありました。熊本地震に対しましては、日本看護協会による派遣調整に対応し、当協会登録の災害支援ナースの方々が避難所での被災者支援に活躍するとともに、会員をはじめ多くの方々のご協力を得て、義援金をお送りすることができました。皆様のご協力に、心より感謝申し上げます。

改めて、被災された方々に心からお見舞いを申し上げるとともに、今年こそ、穏やかで、素晴らしい年となりますよう祈念して、新年のご挨拶といたします。

スペシャリストが行く！ Activity of specialist

小児アレルギーエデュケーター・小児看護専門看護師

子どもの「げんき」と「えがお」を目標に

地方独立行政法人神奈川県立病院機構　神奈川県立こども医療センター
小児アレルギーエデュケーター　小児看護専門看護師　**田阪　祐子**

資格を取得した経緯

20数年前、私が看護師となって就職した病院は、総合病院の小児病棟でした。当時は、気管支喘息で長期入院を余儀なくされ、療養生活を送っていた子どもが多くいました。私は、日々の鍛錬療法※1や喘息キャンプ等を通して、子どもたちから看護を学び、看護師として育ててもらいました。今では、医療の進歩により、喘息発作への対症療法から炎症を抑える治療へと変化し、看護師も専門性の高い知識が必要となっています。そのような中、日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会認定資格である「小児アレルギーエデュケーター（Pediatric Allergy Educator：以下PAEとします）」制度が開始され、アレルギーの看護をサブスペシャリティとしていた私は、「これだ！」と思い、2011年に資格を取得しました。並行して、大学院修了後に小児看護専門看護師（Certified Nurse Specialist：以下小児看護CNSとします）を2012年に取得しました。

現在の日々の活動

病気をもつ子どもは、長期にわたる包括的なフォローアップが必要であるため、家族を含めた指導が重要になります。また成長して大人になっていく過程で、セルフケアを獲得したり、病気をもちながらも地域の中で社会性を育む支援が必要です。これらのことを支援するために、当施設の小児看護CNS 5名で平成26年度より小児看護専門外来を開設しました。時にはアトピー性皮膚炎の子どもをもつ母親が、子どものかゆみがひどくて、夜も眠れない日々を過ごしていたときに、「こんな辛い思いをするんだったら、死んだ方がまし」と泣きながら、これまでの経験と苦しい胸の内を語ることもあります。

このような時、大事にしていることは、子どもや母親の思いに寄り添いながら、これまでの頑張りを認め、治療に必要なケアが継続できるよう、どうすれば、生活の一部として、ケアが続けられるのかを子どもとご家族と一緒に考えることです。

また、院内のPAEを取得している看護師・管理栄養士、アレルギー科医師と共に、アレルギーに関する情報交換や事例検討会が行えるような調整を行い、月に一度、定例会を開催しています。院外での活動では、小児看護CNS事例検討会への参加、学校の教員を対象とした食物アレルギーとエピペン®研修※2の講師、地域の保健師、訪問看護師を対象としたスキンケアの研修の講師等、いただいた依頼に合わせた内容を提供しています。

これからの仕事への思い

施設や地域にかかわらず、アレルギー疾患のある子どもと家族が、いつでも、どこでも適切なケアが受けられるよう、施設を超えた連携をとり、知識の普及に努めていきたいと思います。そして、当施設の‘わたしたちのちかい’である子どもの「げんき」と「えがお」のために、みんなで力をあわせて取り組んでいきたいと思います。

石鹸を泡立て、もこもこ泡を作り、皮膚のケアをしています

※1：水かぶりや乾布摩擦、ランニングなどで、呼吸機能や自律神経を強化する訓練のこと
※2：アレルギーなどによるアナフィラキシーに対する緊急補助治療に使用される医薬品の投与の研修

健康ひろば

KANAGAWA 看護だより166号では、「入院患者さんのための季節料理」を特集しましたが、今回は、介護老人保健施設や障害児入所施設等に入所されている「利用者さんのための季節料理」をご紹介します。
入所者の方に喜んでいただけるよう、季節と食材に心を配り工夫されている栄養士さん3名に、季節料理の一部を教えていただきました。

入所されていても食べる喜びを！ 利用者さんのための季節料理

地元の食材で非日常を演出

3月、ちらし寿司に雛あられも添えて桃の節句御膳

4月、春の山菜たっぷりお花見御膳

JA 神奈川県厚生連
介護老人保健施設 ほほえみの丘
管理栄養士 **中村　葉**

JA の介護老人保健施設ならではのこだわりに『食』が挙げられます。外出の機会が少ない利用者さんのため、毎日の食事が季節を感じるきっかけとなるように献立を考え、地元の新鮮な食材を使用し、素材の味を生かした調理を心がけています。また、それぞれの身体状況や嗜好に配慮した安全な食事を提供しています。噛む力が弱い方には切り方や加熱方法を工夫した軟菜食を、飲み込む力が弱い方には嚥下調整食、疾患をお持ちの方は状態に合わせた糖尿病食や減塩食など、オーダーメイドとも言える食事作りで、喜んでいただいています。

毎月1回の『行事食』は、3人の調理師がそれぞれの得意分野である和食、寿司、イタリアンの技術を駆使し、器も専用のものを使用して、いつもとは少し違った非日常を演出するために腕をふるいます。今年の4月の行事食は、筍ご飯、山菜の天ぷら抹茶塩添え、桜ムースなど春のお花見弁当をイメージした献立となりました。この他にも、七夕、紅葉、おせち料理、節分など趣向を凝らした行事食は毎回大好評です。利用者さんに「美味しい！」をお届けするために、これからも日々奮闘を続けていきます。

常食からペースト食まで楽しく笑顔で

常食

9月、お月見食
杏仁豆腐と苺ソースのうさぎがかわいらしい

ペースト食

社会福祉法人十愛療育会
横浜医療福祉センター港南
管理栄養士 **飯田 純代**

横浜医療福祉センター港南は、「重症心身障害児者施設」と、小児期発症の慢性神経疾患（脳性麻痺・発達障害・てんかん等）をもつ方々への「専門クリニック」として平成28年6月に開所しました。

施設利用者さんの多くは重度の知的障害と身体障害を併せ持っており、個人によって求められるニーズも様々です。そのため、心地よく安心して過ごしていただけるような環境・雰囲気づくりに尽力することが当センターの大切な役割となります。

食事は、常食・一口菜食・軟菜食・粒ありミキサー食・ペースト食・ゼリー食・胃ろう食などの食種を設定し、利用者さんお一人おひとりの個別性と自立性に配慮した食事の提供を心掛けています。

9月のお月見食では、さつま芋やきのこなど旬の食材を取り入れ、型抜きした紅葉の人参を飾り付けました。また、常食からペースト食の方まで幅広く楽しんでいただけるよう、杏仁豆腐に苺ソースでうさぎを描き、見た目も楽しめる食事にしました。

生きることの根幹である「食」というテーマを念頭に、栄養課としては利用者さんを第一に考えた食事作りに励み、“笑顔”のために美味しく・優しい食事を提供し続けていきたいと思います。

利用者さんと一緒におやつ作りも

お赤飯とおさしみのお正月の行事食

利用者さんと一緒に作ったピザトーストところてん

IMS グループ医療法人明理会
介護老人保健施設
相模原ロイヤルケアセンター
管理栄養士 **横関 晶子**

相模原ロイヤルケアセンターでは、月に一度その季節・行事にちなんだお食事を提供しています。

通常のメニューでは登場しない食材の場合、事前に聞き取りを行います。普段、魚料理だとほとんど食事が進まず、他のメニューで対応している方でも、お刺身・お寿司の時は食べられるという方や、お粥を食べていても、五目ずしやお赤飯を食べたいという方が多いからです。安全に食べることの確認を医師や看護師と相談しながら、可能な範囲で利用者さんに満足していただけるよう準備をします。

月の行事というと、二月は節分が頭に浮かぶのですが、若いスタッフからは、バレンタインの行事食を提供したいという意見もあり、アイデアを出し合いながら、献立を作成しています。利用者さんに受け入れられるか、当日までドキドキしています。

最近は、利用者さんと一緒に、じゃが芋もちやピザトースト・ところてん等のおやつ作りに取り組んでいます。普段は、物静かな利用者さんが、肝っ玉母さん張りに他の方のおやつ作りをされる姿に新たな発見もあります。

これからも利用者さんと共に楽しい食の時間を共有したいと思います。

目からウロコのお役立ち情報

今回のテーマは…

女性と腰痛

このコーナーでは、皆さんの生活に役立つ、とっておきの情報を提供します。今回は、「女性と腰痛」について、ふれあい平塚ホスピタル　理学療法士　大島奈緒美さんに解説していただきました。

腰痛には女性特有の理由もある

女性に多い腰痛

腰痛は日本人の多くの人に発症する障害で、一生のうち国民の80%は腰痛を経験すると言われるほど日常的な病気です。そして腰痛は高齢者だけに多いわけではなく、10代の若い世代でもしばしば起こります。さらに男女の比較では男性よりも女性に多いとされています。これは腰痛の原因となりうる“女性特有の要因”が数多く存在するためです。女性の腰痛を増やす要因（「女性の腰痛について」ホームページより）には、「身体的な特徴や生活習慣」、「女性ホルモンの変化」、「女性特有の病気」の大きく3つがあります（表1）。

表1　女性の腰痛を増やす要因

【身体的特徴と生活習慣】
- 筋力不足
- 尿道との位置関係
- 冷え性
- 妊娠
- ハイヒールなど靴の影響

【女性ホルモンの変化】
- 生理痛
- 生理不順
- 更年期障害
- 骨粗鬆症

【女性特有の病気】
- 子宮の病気の多くで腰痛が発生

女性は男性より筋肉量が少ない以外にも、解剖学的に尿路感染症を起こしやすいため、それが腰痛につながったりします。またハイヒールなどかかとの高い靴の影響で腰椎に過度な緊張を与えることも原因となります。さらに女性ホルモンによる影響や女性特有の病気など、原因は様々です。安易に考えず、整形外科で治らない場合は、婦人科疾患などの可能性も考え、受診をお勧めします。

症状に合わせた予防対策を

一般的な腰痛に対する予防対策では、テレビや雑誌でも多くの「腰痛体操」が紹介されています。しかし気をつけていただきたいのは誰にでも効果のある体操はないということです。人によって痛み方や痛む条件が異なります。当然それに対するストレッチや腰痛体操も、その症状に合わせた方法でなければ正しい効果は発揮できません。無理なく自分にあった体操を選んでいただくためにも、ぜひ専門家にご相談ください。

ご自身でも普段の生活習慣を見直していただき、腰の負担を減らす努力が必要です。姿勢や動作に気をつけるだけでなく、適度な運動習慣を身に付け、バランスの良い食生活やストレス対策、睡眠時間などにも気を配ることが腰痛予防には重要となります。

職場での対策も検討必要

厚生労働省は平成25年に「職場における腰痛予防対策指針」を改訂し発表しました。指針改訂の背景には労災（休業4日以上）の6割が腰痛を原因としており、介護や看護など社会福祉施設をはじめとする保健衛生産業では、最近の10年間で腰痛発生件数が 2.7倍にも増加していることが挙げられます。腰痛予防対策の推進が必須とされ、福祉・医療分野における介護・看護作業における腰痛の予防対策を加えて改訂されました。ぜひ皆様の職場でもその取り組みを検討していただきたいと思います。

神奈川県看護協会　県民のための講演会

きくち体操

～健康寿命を伸ばす究極の方法～

講師　**菊池　和子** 先生

9月13日（火）県総合医療会館7階講堂で、「きくち体操」の菊池和子先生をお迎えし「健康寿命を伸ばす究極の方法」について講演していただきました。当日はあいにくの雨でしたが、253人の方が参加、皆熱心に先生のお話を聴いていました。

今年で82歳になられた菊池先生は、日本女子短期大学卒業後、中学校の体育教師を経て「きくち体操」を創始され、以来50余年、意識（脳）の使い方と人体の仕組みに沿った独自の動きを考案されました。

人体模型を使って、体の構造を説明される菊池先生

講演会では、人体模型や人体図を使って、人間の骨や筋肉の構造について、わかりやすくユーモアを交えて説明されました。

「きくち体操」は、年齢を重ねても、よりよく最後まで生きていくために作られた体操です。手や足が全身の起点になっていること。手足の指一本一本を動かして脳と体を活性させること等、自分に意識を向けて動かすことの大切さを2時間にわたって、全身全霊を傾けて伝えていただきました。

最後に、「この体以外で生きる道具はありません。体はあなたの命です。しかも、あなたにしか痛いのも心地よいのもわかりません。どうか自分から気を離さずに、大切に育て続けていってください。」と話されました。気が緩みがちな日常の中で、大いに身のひき締まるひとときでした。

（広報出版委員会
竹埜 格子　清田 光子）

手の指一本一本に意識を向けて脳とつなぎ、筋肉を育てる動き

毎日をHAPPYにする　私のヒーリングタイム

社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス
海老名総合病院
看護師　**益田 早苗**

大好きな花を束ねて癒されるひととき

私の母は花が大好きで、庭にスズランやスイセン、バラなどのたくさんの花を咲かせていました。その影響もあり、私も花が好きで、花屋さんで働きたいと考えたこともありました。

最近では忙しいことを理由に花を楽しむ余裕もなくなってきていますが、友人に Paris Style※のフローリストがいるため、時々プライベートレッスンを受けています。

Paris Styleではユーカリの葉を使います。ユーカリの深い緑と香りに癒されながらスイートピーとオレンジ色のラナンキュラスを使ったコンポジション、そしてクリスマス・リースなどを作りました。3月8日は「国際女性デー」であり、ミモザの日とも呼ばれているため、3月は特別にミモザリースのレッスンを受けることもできます。大好きな花を美しく束ねることだけを考える時間が私のヒーリングタイムです。

※：フラワーアレンジメント教室の一つ

クリスマス・リースと益田さん

ユーカリのコンポジション（上）とミモザリース（下）

支部コーナー

このコーナーでは、各支部の活動やお知らせを掲載しています。
今回は、川崎、横浜北、横浜西、横浜南、横須賀の５支部からの報告です。

川崎支部（川崎区、幸区、中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区）

支部長　**小林　信子**（公益社団法人川崎市看護協会）

体験を通して学ぶ支部研修

平成28年度の支部研修は、「急変時の看護」「ロールプレイで学ぶ退院調整」「地域連携のための相互研修」を計画しました。川崎市ナーシングセンターを拠点に開催しています。

「急変時の看護」研修は、講義と演習を組み合わせて行い、57人が参加しました。アンケートでは「期待通りの研修であった」52人（91.2%）、「活用できる」56人（98.2%）が回答しました。また演習では「ほかの病院の人とも協力できてよかった」という感想がよせられました。

「ロールプレイで学ぶ退院調整」研修は、シナリオと小道具を使い、35人で患者と家族、病院スタッフ、在宅スタッフ、行政関係に分かれてドラマを演じ、退院調整の仕組みをしっかり学習することができました。

楽しみながら研修を受け、皆さんのキャリアアップに活かしていただきたいと思います。

シナリオと小道具でロールプレイ

肘を伸ばして胸骨圧迫を

横浜南支部（西区、中区、南区、港南区、磯子区、金沢区）

支部長　**杉浦　由美子**（横浜市立大学附属病院）

「元気になろう」をテーマに研修企画　皆で元気になりましょう！

横浜南支部では「元気になろう」をメインテーマに研修会等を開催しています。医療安全研修では、昨年度人気が高かった「チーム・ステップス」、リフレッシュ研修では「アンガーマネジメント」を引き続き実施しました。自分の怒りの度合いを知ることで、コミュニケーション技術を磨きます。

2025年に向けて、地域連携研修にも力を入れています。

5年目となった今年は薬剤連携シンポジウムを開催、研修会には会員、非会員問わず多くの方が参加しました。

また、今年度から「高齢者看護　概要と介入方法について」の研修を企画しました。やりたい看護を提供でき、元気よく働くために、会員の皆様のニーズに合わせた研修を企画していきます。これからも多くの方の参加をお待ちしております。

南支部大会・講演会
30年度診療報酬ダブル改定について

高齢者の看護
高齢者の特徴と介入方法

横浜北支部（鶴見区、神奈川区、港北区、緑区、青葉区、都筑区）

支部長　**原　　久美**（平和会平和病院）

横浜西支部（保土ケ谷区、旭区、戸塚区、栄区、泉区、瀬谷区）

※平成28年度は横浜西支部と北支部は合同で活動しています。

支部長　**吉澤　壽子**（地域医療機能推進機構横浜保土ケ谷中央病院）

北支部・西支部合同で活動力パワーアップ
～地域に根差した健康普及活動と持続可能な地域創造を看護のチカラで～

横浜北・西支部では、研修会の開催や「リレーフォーライフ（がん患者さんやそのご家族支援、地域全体でがんと向き合いがん征圧をめざす活動）」への参加、広報誌（支部だより）の刊行などの活動を行っています。

研修企画では、現場で活躍する看護職員の安全な看護実践を支えることをねらいとし、「いまさら聞けない」と題して中堅看護師向けフィジカルアセスメント研修を開催しました。大変盛況で予定していた会場を変更するほどでした。１月には医療安全に関連したテーマの研修を、2月には地域連携についての研修会を予定しています。

また、10月1日（土）、臨海パークにおいて開催された「リレーフォーライフみなとみらい」に参加しました。骨密度、血管年齢測定にのべ167人の方が足を運んでくださり、日ごろからの健康管理の大切さをお伝えできました。また、闘病中のがん患者さんや、患者さんを支える家族の思いをうかがうことができ、胸が熱くなりました。今後も、現場で働く看護職が役員を務める会だからこそできる活動を展開していきたいと思います。

フィジカルアセスメントを熱く語る
集中ケア認定看護師の高野洋さん

リレーフォーライフ
みなとみらい会場のルミナリエ

骨密度、血管年齢測定の様子

※参加者の許可を得て掲載しています

横須賀支部（横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町）

支部長　**嘉山　静子**（三浦市立病院）

看護と介護の架け橋～「横須賀支部看護・介護研究発表会」

横須賀支部では、例年「看護・介護研究発表会」を開催しており、平成28年度で第34回を迎えました。毎年、100人前後の参加があり、会員一人ひとりの意識の高さを感じています。また、研究発表は、病院等に所属する看護師だけではなく、介護の分野までを対象としています。職種や職場の背景が異なりますが、日々の実践の中から、取り組まれた成果を発表し、意見交換をする場となっています。医療・介護がめまぐるしく変化していく時代の中で、看護や介護の垣根を超えて、共に学び・共に高め合う場となるよう、企画・運営しています。

第２回　横須賀支部研修会のお知らせ

日　時：平成29年２月２日（木）　14：00～16：15
場　所：ヴェルクよこすか
テーマ：レジリエンスを鍛える～折れない心で働き続ける～
講　師：前　横須賀市立うわまち病院　副看護部長　江口智子

看護・介護研究
発表会風景

平成29年度公益社団法人神奈川県看護協会

役員の推薦及び立候補について

推薦委員長　横田 千恵

公益社団法人神奈川県看護協会定款第25条に基づき、平成29年6月に任期満了となる役員について次の通り改選します。本協会正会員の中から協会活動を推進する有能な人材を得るため、推薦基準に該当する方をご推薦くださいますようお願いいたします。

【改選役職名及び定数】

役員	定数	役員	定数
会長	1名	看護師職能理事Ⅱ（介護・福祉関係・在宅等領域担当）	1名
副会長	2名	准看護師理事	1名
専務理事	1名	川崎支部理事	1名
常務理事	2名	相模原支部理事	1名
保健師職能理事	1名	湘南支部理事	1名
看護師職能理事Ⅰ（病院領域担当）	1名		

［任　　期］ 平成29年6月通常総会終結の時～
平成31年6月通常総会終結の時

［推薦基準］

○神奈川県看護協会の目的に沿って組織を強化発展させるよう実践できる人
○会員歴が3年以上の人
○会員の実情をよく知り、定められた会議に出席して、それを反映できる人
○公益社団法人神奈川県看護協会定款21条に規定する役員の欠格事由に該当しない人
なお、推薦していただく方については、再度推薦委員会で協議検討の上、候補者として推薦させていただきます。

［推薦方法］

推薦を行う場合は、被推薦者の承諾を得てから、所定の用紙に必要事項を記入の上、平成29年2月28日(火)までに、推薦委員長に届け出てください。
提出書類：平成29年度役員推薦書、
平成29年度被推薦承諾書

［立候補の方法］

立候補しようとする方は、正会員5名以上の推薦を受けて、所定用紙に必要事項を記入の上、平成29年2月28日(火)までに会長に届け出てください。
提出書類：平成29年度役員立候補届

［問合せ］ 総務課 総務班　平賀　☎045-263-2914

※届出用紙が必要な場合は担当までご連絡ください。

理事会報告

第3回 | 平成28年10月1日㈯

協議事項

1．日本看護協会理事会・法人会員会について（7/28.29.9/23）
2．平成29年度　要望活動の実施について
3．県・市からの委託事業について
4．日本看護協会の見学について
5．県民のための講演会について
6．会員交流会について
7．サンリオピューロランドの無料招待について
8．認定教育課程・研修・学会等について
9．平成27年度会計監査の指摘事項に対する措置状況について
10．その他
（1）看護職の表彰について
（2）他団体会議の出席状況報告について

意見交換

1．平成29年度事業計画（案）検討について

会員読者の皆さまへ

会員だけの特典よ！どんどん応募してね！

お年玉プレゼント

～この機会に、豪華賞品をゲットしよう！～

神奈川県看護協会より、応募された会員読者の方へ
抽選でお年玉プレゼントを差し上げます。

賞　品

1等 30,000円旅行ギフト券 …… 1名様
2等 10,000円全国共通食事券 …… 10名様
3等 5,000円図書カード …… 15名様
4等 3,000円クオカード …… 20名様

注）賞品は選べません。

【送 付 先】
〒231-0037
横浜市中区富士見町3-1
公益社団法人神奈川県看護協会
広報出版委員会 「お年玉プレゼント」宛
メール：kouhou@kana-kango.or.jp

【締　　切】
平成29年1月20日（金）必着

【応募方法】
はがき又はメールに ①「お年玉プレゼント希望」②郵便番号・住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤会員番号 ⑥看護だよりの感想、気に入った記事等　を記載して神奈川県看護協会へお申し込みください。
お申し込みは、はがきかメールどちらか一方のみで、お一人様1回に限らせていただきます。

【抽選・発送】
- 厳正な抽選の上決定し、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。
- 記載事項に不備のある方は、無効とします。
- 頂いた個人情報は、賞品の発送（2月中旬予定）のみに使用し、他への転用はいたしません。

当選しました！ 昨年度当選者の喜びの声

1等 30,000円旅行ギフト券

1等なんて当選したこともなく最高にうれしいです！「がんばれー」と応援されているようです。これからの活力にして、気持ちを引き締め、精進していきます。

3等 5,000円図書カード

看護協会からの封筒が届き、なんだろうと開けてみると当選おめでとう！応募したこともすっかり忘れていたのでビックリでした。図書券が無駄にならないよう自分磨きに使わせていただきます。

2等 10,000円食事券

封筒開けてビックリ「やったあー」と叫びました。私にも良いことがあるんだなあ、これからもがんばらなくちゃ、と元気が出てきました。自分へのご褒美として、美味しいものをいただきたいと思っています。

4等 3,000円クオカード

残念ながら退職を決めたころ、気分転換で応募しました。ポストをのぞくと封筒が！なんだか「お疲れ様でした」と言ってもらったようで、涙が出ました。

プレゼントのこと、近くの会員にも案内しましたが、どうだったでしょう？カミさんと二人暮らし、いつか、ちょっと豪華な食事に活用させていただきます。ありがとうございました。

※この他にも多くの当選者の方から感想を頂きました

「はい、この方が当選です！」
広報出版委員会が行った昨年度の抽選会の様子

子どもたちと喜んだあと「コンビニに行こう！」と言われ、家族4人で普段は我慢している新発売のアイスを買い、小さな幸せを感じる時間を過ごしました。あれから、子どもたちは様々な懸賞に、余った年賀はがきで応募しています。

発行●公益社団法人神奈川県看護協会　〒231-0037 横浜市中区富士見町3番1
発行責任者●篠原弘子　編集●広報出版委員会　印刷●㈱ヨシダプリント
TEL.045-263-2901㈹　FAX.045-263-2905
ホームページアドレス●http://www.kana-kango.or.jp/
メールアドレス●kanakan1@basil.ocn.ne.jp

こんにちは事務局です

TEL. 045-263-2901　FAX. 045-263-2905

平成29年度継続・新規入会受付中！

平成28年10月3日より、新会員情報管理システム「ナースシップ」がスタートしています。29年度の申請書送付先は県協会ではなく、事務委託会社（私書箱）となりますのでお間違いのないようご注意ください。
会費のお支払いも、県協会の口座はご利用できませんので、ご注意ください。
引き続きみなさまのお申し込みをお待ちしています。
ご不明な点は、下記問合せ先まで。
問合せ／総務課　企画・会員班　☎045-263-2918

助産師職能研修会開催①

日　　時／平成29年2月25日（土）（13:00～16:30）
場　　所／県看護協会第1研修室（県総合医療会館6階）
内　　容／妊娠糖尿病・妊娠高血圧症候群について知ろう
講　　師／吉田クリニック　天野完先生
中野レディースクリニック　中野眞佐男先生
参 加 費／1,000円（会員無料）
定　　員／80名
申込締切／平成29年2月17日（金）必着

助産師職能研修会開催②

日　　時／平成29年3月17日（金）（13:30～16:30）
場　　所／県ナースセンター研修室（県総合医療会館5階）
内　　容／児童虐待
講　　師／日本体育大学体育学部社会体育学科
南部さおり先生
参 加 費／1,000円（会員無料）
定　　員／80名
申込締切／平成29年3月10日（金）必着
問 合 せ／①②：助産師職能委員会担当
☎045-263-2901

新春のつどいご案内

日　　時／平成29年1月26日（木）
18:00～20:00
場　　所／横浜ロイヤルパークホテル宴会棟3階
鳳翔の間
会　　費／6,000円
問 合 せ／総務課　総務班　☎045-263-2914

平成29年度教育計画・事業（案）説明会

日　　時／平成29年2月24日（金）
13:30～16:30（受付13:00より）
会　　場／神奈川県ナースセンター研修室
（神奈川県総合医療会館5階）
参 加 費／無料
応募方法／往復はがきに①研修名②氏名（フリガナ）③所属施設名④施設内での役割⑤施設電話番号⑥会員・非会員の別（会員番号）をご記入の上お申し込みください。
締　　切／1月27日（金）必着
詳細はホームページをご参照ください。
問 合 せ／研修課　教育研修班　☎045-263-2926

認定看護管理者教育課程募集

◆ファーストレベル
開講期間／平成29年4月27日（木）～9月8日（金）
募集人員／70名程度
募集期間／平成29年1月6日（金）～1月27日（金）

◆セカンドレベル
開講期間／平成29年10月5日（木）～30年3月2日（金）
募集人員／35名程度
募集期間／平成29年5月10日（水）～5月24日（水）
募集要項は、ホームページからダウンロードしてください。
問 合 せ／研修課　認定教育班　☎0466-55-3070

KANAGAWA看護だより表紙の写真等募集

広報出版委員会では、看護だよりの表紙に掲載する写真や記事を募集しています。掲載希望の方は、下記までご連絡ください。
問 合 せ／総務課　企画・会員班　☎045-263-2918

会員専用ページのお知らせ

神奈川県看護協会ホームページの会員専用ホームページには、会員の方が利用できる「指定店名簿」など掲載しています。開くには、パスワードが必要です。
【パスワード】2000

表紙の写真

笑顔と思いやり・感謝を大切に満足していただける看護を提供

――社会福祉法人ユーアイ二十一
特別養護老人ホーム太陽の家（横須賀市）

太陽の家は浦賀の小高い山の上にあり、浦賀水道を見渡せ、大型客船などの往来や満点の星空など眺めることができます。夏には、施設から浦賀と久里浜の花火大会を楽しむことができ、ご利用者の方々から大変喜ばれています。

当施設では、平成28年度の行動指針「信頼する・信頼される、仲間の和」を目標に、ご利用者、ご家族、地域の皆様への支援に取り組んでいます。「太陽の家で良かった」と思っていただけるような看護の提供をめざしています。

また、行事などはスタッフが企画から趣向を凝らして参加し、皆で楽しんでいます。子育て支援や職員育成など、働きやすい職場づくりにも努めています。

医療サービス統括責任者　**青 木 幸 代**

編集後記

会員の皆様、あけましておめでとうございます。
今年もお年玉プレゼントを企画、多数のご応募お待ちしております。会員の皆様へ役立つ広報誌作りを目指していきたいです。どうぞよろしくお願いします。　（N.T）